

一般質問

吉 富
議 員

○立岩地区地滑り対策の進捗について

質 立岩地区地滑り対策工事は、県においても近年にはない最大規模であり、地域住民にとっても関心度が高いことから、現状の進捗をお聞きます。

建設課長 本事業は、県営事業として、事業期間は平成19年度から平成37年度までの予定となっています。総事業費約38億円をかけて、排水トンネル、集水井、集水ボーリングなどの地下水排水工を主体とした計画で事業が推進されています。事業の進捗については、平成29年度までに事業費約18億円、事業内容としては排水トンネル1287m、排水トンネル内の集水ボーリング173本などが完了しており、事業進捗率は47%となっています。平成30年度については、事業費約5000万円をかけて、地滑りブロック末端部の集水ボーリング7本を実施される予定となっています。

○松浦市の交流人口対策について

質 交流人口拡大のために、不老山の長寿命化対策をはじめ、今後どのように計画を進めていこうと考えて

おられるのかお尋ねします。

市長 私のビジョンの中でも「現有的文化・レジャー施設の最大活用」と「景観に優れた場所の有効活用による交流人口の拡大」の二つを掲げています。不老山総合公園については、春のツツジの時期は多くの皆様にご利用いただいておりますが、それ以外の時期になると客足が少なくなることから、長寿命化として人工草スキーの芝の張り替えなど子ども遊園の整備をしています。また、この公園は、景観に優れた場所があり、トイレ、水などのインフラ整備もできていますので、昨今、大きな人気が出つつあるグランピング（利用者が手ぶらで来てバーベキューができる施設）を利用できないか検討したいと考えています。

また、私のビジョンの中に「アジフライの聖地をめざす」という項目もあります。従来から、松浦市のイメージアップを図るために様々な取り組みがなされてきましたが、さらに魅力あるものがつくれないかと考え、本市を代表する魚であるアジのフライのおいしさをもっと伝えるべきではないかとの思いによるものです。マスコミからも非常に興味を持っていただき、本市のPRに十分つながると思います。福岡都市圏を含む周辺自治体からも多くの皆様を呼び込み、地域活性化をめざしたいと考えています。

一般質問

安 江
議 員

○志佐川洪水ハザードマップについて

質 志佐川洪水ハザードマップ作成の経緯などについてどうですか。

防災課長 平成19年度に志佐川洪水ハザードマップを作成し、想定区域を中心に各世帯に配布しました。

質 浸水予測範囲の世帯数と要配慮者を含めた人数は幾らですか。

防災課長 平成30年7月末で、世帯数1056世帯、人口2291人、域内医療機関の病床数129床、施設利用可能者数72人です。

質 浸水予測範囲内の要配慮者への対応、NTT・九電志佐変電所、ホテルなどの宿泊者、スーパー等の対応はどうですか。

市長 要配慮者の避難については、各施設で避難訓練を実施しているが、市としても施設側と協議していきま。NTT及び九電志佐変電所は、かさ上げ等浸水対策をとられています。宿泊施設では、水害対策や計画はないものの、宿泊者の垂直避難等を考えられています。災害援助協定を結んだスーパー等は、店舗にある物資の提供可能とのことです。

質 市役所の浸水対応はどうですか。

関係課長 税務関係台帳や戸籍などは電子データ化されており、紙文書が毀損した場合も復元可能です。そ

の他の重要文書や公用車は、職員による移動等対応を行います。

質 災害ごみ対応の計画はどうですか。

市民生活課長 ごみの集積場所は、平成18年策定の松浦市水害廃棄物対策マニュアルで、被災地周辺の一時仮置き場の設置と、市内14カ所の二次仮置き場が想定されています。

質 マップの全戸配布の考えは。

市長 平成20年配布物を調整し、区域内住民や企業、施設等に配布します。

○鷹島地区小中学校校舎改築設計業務委託の再度入札について

質 7月26日に入札され、落札者が決定していたのが、市のホームページから削除され、8月30日に再度入札となっているその経緯を伺います。

教育総務課長 工期を誤って入札を執行したため、再度入札を行うこととし、関係各社にお詫びしました。

質 同様なことは過去にありましたか。

副市長 私が来てからの4年間で、こういった事例はありません。

質 行政の間違ひは公表すべきでは。市長 市民の皆様には直接影響が及ぶ場合は、公表について、今後十分考えなくてはならないと思います。

質 市民が信頼できる行政となるため公表を求めるいかがですか。

副市長 契約事務上のミスであり、市民の信頼を損なう状況かどうかを判断し、今回は非公表としました。